

情報科学研究科学学位審査基準等

学位審査基準

博士前期課程

修士論文あるいは課題研究報告書の内容とその口頭発表、および、口頭試問により審査を行います。修士論文には、新規性や有効性が重視されますが、その他に次の項目について審査を行います。

1. 研究の背景や目的を理解している

2. 研究課題に関する知識の整理がなされている

論文の序論、基本的な知識の解説、関連する研究、研究課題の意義など

3. 研究の進め方や研究方法について吟味がなされている

研究課題の解決に参考にした原理や方法

新たに提案した方法は正しく適切である

新たに提案した方法の有効性と評価

4. 提案した式や採用したデータが含まれている場合、それらが正確で、適切にまとめられている

データは研究目的や研究方法に適合している

図表が研究結果を適切に表現している

5. 得られた結果と残された課題について考察している

研究の目的が達成された

結論について新規性や重要性がある

今後の研究の必要性や方向を述べている

6. 引用文献は適切である

7. 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている

博士後期課程

博士論文は新規性や有効性があり、その内容は、査読のある学術論文、査読のある国際会議、あるいは、著書などに公表しているか、公表される予定であるものとします。そのためには、前期課程の項目（1-7）は当然満たされているだけでなく、新たに社会に普及して、貢献することができる水準のものであることが期待されます。

審査は、博士論文の内容と公聴会での口頭発表、および、最終審査により行います。審査の項目は次のものです。

1. 博士論文の内容は公表されている
2. 論文の内容には、国際的に新規性がある
3. 新たに提案した原理や方法は、社会で有効に適用されると期待できる
4. 将来への発展の可能性がみられる